


脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	堂屋敷 誠	所属	自然電力(株)	
専門領域	地域脱炭素の構想。計画立案及びこれを通じた地域及び産業の振興、再エネの地産地消（含む地域マイクログリッド）、カーボンニュートラルポート	居住地域／派遣可能地域	東京／全国	
略歴	1994.4 石狩市役所 入庁 2000.4 北海道開発庁北海道開発局 派遣 2002.5 石狩湾新港管理組合 派遣 2018.4 石狩市企画経済部企業連携推進課 2023.4 自然電力(株)			
過去の地方公共団体との関わり	石狩市在職中に、同市の地域の再エネを活用する産業エリアのREゾーン構想の企画立案及び事業推進を担当。再エネによるデータセンター事業など、脱炭素と地域の産業振興を同時に実現するため、企業との協働による先駆的な事業化に従事。			
一言	地域の再エネを地域で活用することは、地域のエネルギー循環だけではなく、資金循環の実現に繋がります。これまでの経験を活かし、地域脱炭素の実現と地域活力の創造を果たせるような構想の立案等のお手伝いをさせていただきます。			
参考URL	DXが紡ぐ再エネエコシステムの未来 (NoMaps) https://no-maps.jp/report/dx_energy/ 石狩市 工業団地の「再エネ100%エリア」で産業振興を図る (事業構想大学院) https://www.projectdesign.jp/202105/decarbonized-society/009307.php 石狩市が描く脱炭素時代の産業振興モデル (日本立地センター) https://www.jilc.or.jp/files/libs/1188/202111171456057465.pdf 朝日地球会議 p l u s https://www.asahi.com/articles/DA3S15601252.html?iref=pc_photo_gallery_bottom			